

2022年3月16日

輸送動向について（2022年2月分）

1. 輸送概況

コンテナは、各都道府県で延長されたまん延防止等重点措置に加え、北日本地区で相次いだ雪害により、紙・パルプ、積合せ貨物、化学薬品を除く品目で前年を下回った。

農産品・青果物は、北海道地区夏季干ばつの影響に加え、雪害により北海道発着列車の運休が続き前年を大きく下回った。食料工業品は、清涼飲料水がコロナ禍における需要低迷に伴い低調となったほか、菓子類や砂糖が雪害により前年を下回った。自動車部品は、半導体不足および東南アジアからの部品調達困難により各社が生産調整を行った影響で減送となった。

一方、紙・パルプは、前年が需要低迷に伴う生産調整および福島県沖地震による影響を受けた反動で、前年を上回った。コンテナ全体では、前年比92.2%となった。

車扱は、前年に比べ気温が低く推移し灯油を中心に石油が増送となった一方、石灰石は前年を下回った。車扱全体では、前年比99.7%となった。

コンテナ、車扱の合計では、前年比94.8%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,353	1,467	92.2%	16,727	16,990	98.4%
車 扱	775	778	99.7%	7,433	7,415	100.3%
合 計	2,129	2,245	94.8%	24,160	24,405	99.0%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	101	136	-35	74.5%
	化学工業品	125	130	-5	96.5%
	化学薬品	104	103	1	100.5%
	食料工業品	197	215	-18	91.6%
	紙・パルプ	177	167	10	106.2%
	他工業品	91	109	-18	83.6%
	積合せ貨物	221	217	4	102.0%
	自動車部品	49	66	-17	75.3%
	家電・情報機器	25	26	-1	95.7%
	エコ関連物資	34	47	-13	71.7%
	その他	229	252	-23	90.7%
	コンテナ計	1,353	1,467	-114	92.2%
車 扱	石 油	543	532	11	102.2%
	セメント・石灰石	113	130	-17	86.9%
	車 両	86	79	7	108.1%
	そ の 他	34	37	-3	90.6%
	車 扱 計	775	778	-3	99.7%
合 計		2,129	2,245	-116	94.8%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)